

令和4年度

久留米市文化財専門委員会



- ◆ 日 時 令和5年3月9日(木) 14:00～
- ◆ 会 場 えーるピア久留米 205学習室

市民文化部文化財保護課

# 令和4年度 久留米市文化財専門委員会

日時：令和5年3月9日(木) 14:00～  
会場：えーるピア久留米 205学習室

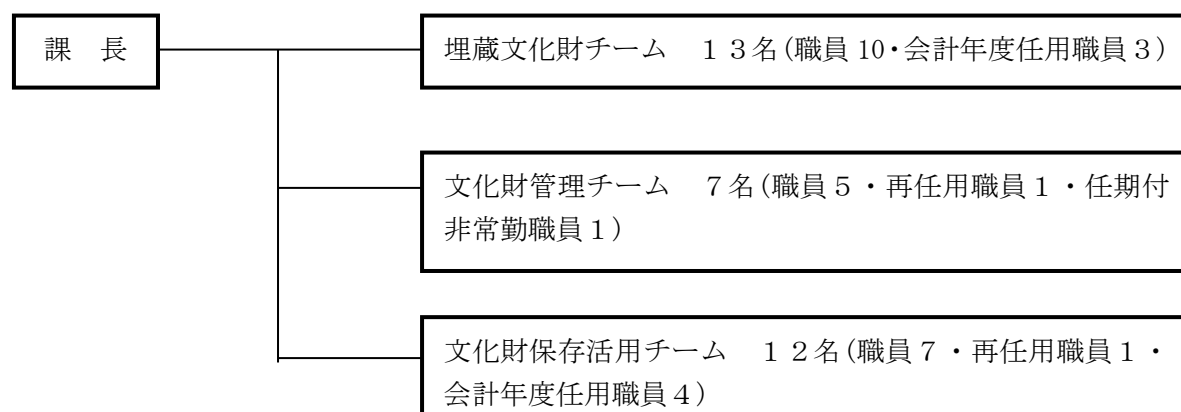
## 次 第

- 1 開会のことば
- 2 課長挨拶
- 3 令和4年度配属職員を紹介
- 4 報 告
  - (1) 令和3年度の事業報告 …………… 1
  - (2) 令和4年度の事業概要 …………… 33
  - (3) 委員からのご意見について …………… 43
  - (4) その他 …………… 45
- 5 閉会のことば

# (1) 令和3年度の事業報告

## I. 組織と業務概要

### 1. 組織



### 2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 埋蔵文化財センターに関すること。
- (7) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (8) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (9) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (10) 博物館の建設準備に関すること。
- (11) 歴史公園に関すること。
- (12) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (13) 久留米市文化財保存活用地域計画協議会に関すること。

### 3. 業務概要

久留米市が有する歴史的資源の適正な保護とその利活用に努めるとともに、市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供することで、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立ててきた。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図ってきた。

また、「公益財団法人有馬記念館保存会」、「公益財団法人久留米絣技術保存会」を所管し、運営を行っている。

### **(1) 文化財を守り伝える**

- ① 埋蔵文化財発掘調査においては、都市開発と文化財保護の調整を図るとともに、事業の効率化、迅速化及び標準化など円滑な実施に努め、あわせて調査結果の公表のため報告書を刊行するなど、市民の理解と協力を得るよう取り組んだ。
- ② 埋蔵文化財の整理・保管と調査・研究のため、埋蔵文化財センターを中心に施設等を生涯学習・教育活動の場として有効活用した。
- ③ 有形・無形・民俗文化財やその他の文化財の積極的な調査と保存・活用に努めるとともに、総合的な記録の整理と活用に取り組んだ。

### **(2) 文化財に親しむ**

- ① 市民の意識の高揚を図るため、文化財の周知、文化財保護の啓発・普及に努めた。
- ② 生涯学習振興の観点から、六ツ門図書館展示コーナーでの企画展等の開催、地域の歴史を学ぶ出前講座、学校の総合学習の時間における体験などにより、地域に根ざす文化財の学習と文化財に親しむ機会の提供に努めた。
- ③ 市民の文化財保護活動の充実、促進を図るために、文化財保護事業および文化財保護団体等への活動支援を行うとともに、地域密着型の観光などによって文化財を活用した市民との協働のまちづくりを推進した。
- ④ 市民が文化財に親しみ理解することができるように、説明板等の整備や歴史ストーリーシートの作成に取り組んだ。
- ⑤ 歴史資料等の収集・調査・活用に努めるため、企画展等を開催するとともに、市民からの問い合わせへの回答や資料貸出等に、収集資料を有効活用した。

### **(3) 文化財を暮らしに生かす**

- ① 筑後国府跡や高良山神籠石などの史跡の保存を図り、環境整備を進めるとともに、市民の地域と歴史についての学習、小中学校の野外学習やレクリエーション、憩いの場としての史跡活用促進にも努めた。
- ② 市内に現存する歴史的建造物などを調査し、貴重な物件は歴史的文化遺産として指定・登録等を行い、必要に応じて修理・復元を行いながら、市民の暮らしの中で、地域学習や生涯学習などに活かすとともに、観光資源として活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額（千円）	予算額（千円）
		令和3年度	令和4年度
歴史ルートづくり事業	定住人口の増加を目的として、地域との協働による交流人口増加に努める。市内の豊かな歴史・文化の保存継承と継続した地域資源の活用のために、地域固有の歴史的なストーリーを整理し、情報を発信した。	計 10,456	計 3,715
発掘調査事業	貴重な国民の共有財産である埋蔵文化財を、開発等により現状保存措置がとれない場合は、記録保存のため、発掘調査を行った。わが国及び久留米地域の歴史・文化等の正しい理解を促すとともに、市民の郷土愛を醸成し、その魅力や価値を伝える取り組みを進めた。	計 144,298	計 162,554
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を拡大するため、展示会や学校教育における「総合学習の時間」への支援事業等を実施した。	計 2,179	計 2,278
有馬記念館活用事業	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報を公開展示した。また、大名有馬家久留米入城400年事業としての企画展や、情報発信などを行い、観光拠点として集客の促進を図った。	計 10,435	計 10,172
歴史資料保存活用事業	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図った。 また、六ツ門図書館展示コーナー等での展示を通じて、資料活用により郷土の歴史に関する市民意識の高揚を図り、地域文化の継承に役立てた。	計 9,251	計 7,717
筑後国府跡 歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令期における筑後国の中心的な施設で、久留米の都市づくりの原点といえる。公有化事業に伴う移転予定の建物調査や、史跡指定地の除草作業などを実施した。	計 11,475	計 36,867
歴史的建造物保存 整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 2,933	計 2,535

事業名	事業概要	予算額（千円）	
		令和3年度	令和4年度
史跡等環境整備活用事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、史跡等を適正管理し、地域の特性を生かした「歴史の広場」として整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 3,663	計 10,327
文化財施設維持補修事業	収蔵資料の保存及び施設の適切な維持管理のため、必要な施設の設置、改修または補修を施すことで、文化財の活用を図った。	計 7,773	計 15,136
文化財保護団体等育成事業	建造物や美術工芸品など有形文化財の管理団体、祭りなど無形文化財の保護団体、および郷土史研究会に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,045	計 1,288
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるために、雛人形や七夕など季節展示により集客を図った。また、和風建築を活かしたお茶会や写真撮影などの貸館利用にも取り組んだ。	計 322	計 322
久留米入城 400 年事業	令和3年度は、大名有馬家久留米入城400年という歴史的節目にあたり、「歴史のまち久留米」を広くPRし、市のブランド力向上に寄与するための事業を実施した。また市民と市が協働して魅力あるイベント等に取り組むことによって歴史遺産の保護意識の醸成をはかり、年間を通して地域の歴史文化に触れる機会を提供するとともに、様々な媒体による情報発信を行い、久留米市の魅力向上につなげた。	計 14,326	計 11,690

## II. 文化財の指定・登録

### 1. 指定文化財の状況—令和3・4年度の指定・登録状況—

ここでは令和3・4年度末における久留米市内の指定・登録文化財の状況について説明する。令和3年度は新規登録の告示1件と指定解除1件、令和4年度は新規指定1件の答申と新規登録4件が告示され、令和5年3月9日現在で、国指定文化財29件、県指定文化財43件、市指定文化財106件、国登録文化財13件である。

久留米市内の指定・登録文化財一覧表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	191	85	22	11	18	9	4	0	6	12	3	1	31	10	24	1	26	0	13
国	42	14	3	3	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	10	0	3	0	13
県	43	23	8	4	3	3	2	0	0	3	0	0	5	2	6	0	7	0	0
市	106	48	11	4	11	4	0	0	6	9	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(令和5年3月9日)

### 2. 新規の指定文化財

(1) 高良大社文書(百四十六通) 15巻、18冊、17通 (国指定重要文化財)

告示年月日：令和5年予定

所在地の場所：久留米市御井町1番地

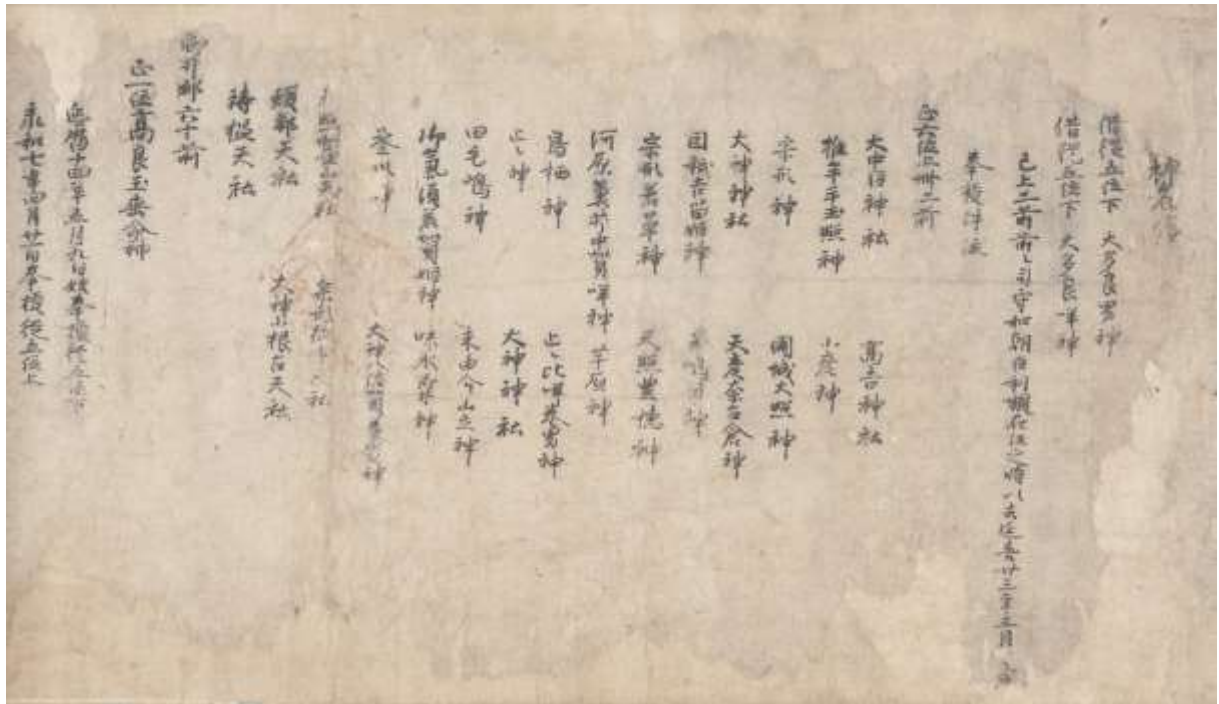
所有者の氏名または名称および住所：宗教法人高良大社

久留米市御井町1番地

時代：平安～明治時代

区分：古文書

指定の事由：高良大社は筑後国一宮であり、高良山の中腹にある。本文書群は、江戸時代以前に、大祝職を務めた鏡山家、大宮司職を務めた宗崎家、神仏混淆のなかで仏教を司る座主家の三家に伝わった文書から構成され、年代は平安～明治時代（10～19世紀）に及びます。特に天慶7年（944）の筑後国解は、筑後国内の神々の名称を書き上げたもので、日本最古の国内神名帳の内容を伝える。また、室町～安土桃山時代に九州の諸大名やその家臣が三家に宛てた文書が豊富であり、九州の歴史上、極めて貴重な内容を有す



高良大社文書（百四十六通）のうち筑後国解（神名帳）



### 3. 指定の解除

#### (1) 目安町の一里塚

名 称：<sup>めやすまち</sup>目安町の<sup>いちりづか</sup>一里塚                      種 別：天然記念物                      員 数：榎1本

解除の事由：木の繊維が無くなるほど完全に腐朽し枯死しているため、久留米市文化財保護条例第35条第1項に基づき、天然記念物としての市指定文化財を解除すべきものである。

### 4. 新規の登録文化財

#### (1) 梅林寺ティーハウス 一棟（国登録有形文化財）

登録年月日：令和3年10月14日

所在地の場所：久留米市京町209番地

所有者の氏名または名称および住所：宗教法人梅林寺

福岡県久留米市京町209番地

時 代：昭和33年（1958）

区 分：建造物（鉄筋コンクリート造平屋建、陸屋根）

指定の事由：「造形の規範となっているもの」による。

筑後川左岸高台の寺院外苑に建つ茶店。鉄筋コンクリート造平屋建て。丸柱と壁柱で屋根スラブと一体化した大梁を支え、特殊な架構で軽快なデザインを実現した菊竹清訓初期作品。



梅林寺ティーハウス（西から）

(2) 篠山神社 本殿 拝殿 中門 透塀 四件 (国登録有形文化財)

登録年月日：令和4年10月31日

所在地の場所：久留米市篠山町444番地

所有者の氏名または名称および住所：宗教法人篠山神社

福岡県久留米市篠山町444番地

時代：明治12年(1879)

区分：建造物(本殿…木造平屋建、銅板葺 拝殿…木造平屋建、銅板葺 中門…木造銅板葺  
透塀…木造銅板葺・一部棧瓦葺)

指定の事由：「造形の規範となっているもの」による。

久留米城本丸跡に所在する神社で有馬家藩主を祀る。本殿は三間社入母屋造り妻入りで、出組と二軒繁垂木で深い軒を持ち出す。大屋根に向拝を取り込む特異ながらも端正かつ堂々たる構えの大型本殿。拝殿は入母屋造り平入で、三間幅の広い向拝を付け、内部は折上げ格天井とする。正面棧唐戸、背面引分戸の他は全て蔀を吊る開放的な大型拝殿。本殿と拝殿の間に位置する中門は、平唐門で、臺股や懸魚に有馬家家紋をあしらい、建物の由緒を織り込む。中門左右に延びて本殿を取り囲む縦格子の透塀は、江戸切り仕上げの石積み、腰を襷棧とする。大型社殿を中心として近代らしい境内を構築する。



本殿 (南から)



拝殿 (南から)



中門 (南から)



透塀 (南東から)

### Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業の概要

#### 1. 埋蔵文化財事前確認

令和3年度の窓口受付件数は723件で前年度比1.2倍の増加である。内訳は対象外424件、要調査42件、事業進捗状況に伴い未回答のもの16件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が241件で、発掘調査と回答した42件の内、発掘調査の対応を行ったのは18件であった。事前確認を求めて窓口での照会件数は、1日平均で20件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち			未回答
				保存調整	発掘調査	未調査	
29年度	720件	451件	267件	190	17	60	2
30年度	714件	453件	240件	200	5	35	21
元年度	634件	425件	209件	194	12	3	32
2年度	600件	384件	205件	164	19	22	11
3年度	723件	424件	283件	241	18	24	16

\*保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買・事業取消しを含む。

\*未回答とは事業の進捗状況等のため、当該年度内において回答に至っていないもの。

#### 2. 発掘調査

##### (1) 発掘調査及び整理作業

令和3年度に実施した発掘調査は、以下の通り18地点で実施した。調査原因は公共の県事業3件、市事業1件、民間受託事業7件、個人住宅等の国庫補助事業4件、確認調査3件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	調査名	調査期間	調査面積	担当者
202101	筑後国府跡第308次調査	令和3年4月6日～令和3年4月10日	32 m <sup>2</sup>	江島
202102	筑後国府跡第309次調査	令和3年4月8日	40 m <sup>2</sup>	小澤・熊代
202103	京隈侍屋敷遺跡第33次調査	令和3年4月12日～令和4年3月24日	3,350 m <sup>2</sup>	大隈
202104	筑後国府跡第310次調査	令和3年4月14日～令和3年7月7日	369 m <sup>2</sup>	江頭
202105	益生田古墳群第5次調査	令和3年4月14日～継続調査中	14,400 m <sup>2</sup>	江島
202106	十間屋敷遺跡第11次調査	令和3年4月19日～令和3年6月24日	245 m <sup>2</sup>	長谷川

調査番号	遺 跡 名	調 査 期 間	調査面積	担当者
202107	へボノ木遺跡第 74 次調査	令和 3 年 4 月 19 日～令和 3 年 5 月 29 日	258 m <sup>2</sup>	西
202108	山王古墳群第 2 次調査	令和 3 年 4 月 15 日～令和 4 年 2 月 15 日	309 m <sup>2</sup>	小川原
202109	久留米城下町遺跡第 30 次調査	令和 3 年 6 月 24 日～令和 3 年 7 月 16 日	95 m <sup>2</sup>	長谷川
202110	三反田遺跡第 2 次調査	令和 3 年 6 月 7 日～令和 3 年 6 月 25 日	1190 m <sup>2</sup>	西
202111	久留米城本丸跡第 1 次調査	令和 3 年 7 月 9 日～令和 3 年 8 月 26 日	152 m <sup>2</sup>	小澤・西
202112	高三瀦遺跡第 12 次調査	令和 3 年 9 月 7 日～令和 3 年 10 月 1 日	133 m <sup>2</sup>	長谷川
202113	早津崎五反田遺跡第 1 次調査	令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 1 月 17 日	1,200 m <sup>2</sup>	江頭
202114	庄屋野遺跡第 8 次調査	令和 3 年 12 月 1 日～令和 4 年 6 月 21 日	1,606 m <sup>2</sup>	長谷川
202115	今泉遺跡第 8 次調査	令和 3 年 11 月 25 日～令和 4 年 1 月 25 日	996 m <sup>2</sup>	西
202116	へボノ木遺跡第 75 次調査	令和 4 年 2 月 7 日～令和 4 年 3 月 11 日	85 m <sup>2</sup>	西
202117	夫婦木間歩第 1 次調査	令和 4 年 2 月 15 日～令和 4 年 3 月 7 日	100 m <sup>2</sup>	江頭
202019	筑後国府跡第 311 次調査	令和 4 年 3 月 7 日～令和 4 年 3 月 24 日	210 m <sup>2</sup>	小川原

## (2) 現地説明会

埋蔵文化財の啓発・普及活動の一環として、下記の 1 地点について現地説明会を実施した。

実施年月日	遺 跡 名	所在地	参加人数	備 考
令和 3 年 12月19日(日)	山王古墳群 第 2 次調査	田主丸町石垣	48名	6 世紀後半～7 世紀の方墳。石室は複室構造。墳丘規模は12m×6mで周囲に外護石を巡らす。前庭部両側に突出部を有する。

## (3) 今後の課題

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、民間開発や建築が増加傾向にある。例を挙げるならば、JR久留米駅前の再開発や大型分譲地の開発が続き、発掘調査に忙殺された。

地域への情報発信は重要なテーマであり、今年度も現地説明会を実施した。しかし、回数は 1 回に留まり、更なる実施や他の普及事業を行うための時間が確保できていない。整理作業においても、過去分の整理などでスペースを確保しているが、出土品の保管場所に余裕が無いことが挙げられる。

また、恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っている。そのため、実測・トレースの一部には、民間支援機関を導入している。また、浮羽バイパス、北野バイパスなどの県道事業については、福岡県文化財保護課による発掘調査対応を依頼しており、人員不足の中でも埋蔵文化財行政が滞ることが無いよう対応していきたい。

### 3. 埋蔵文化財センター事業

#### (1) 令和3年度の概要

令和3年度に実施した国庫補助事業の「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」については、平成29年度より継続して、筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、朝妻・三丁野地区出土品の再点検作業を行った。合わせて令和元年度より行っている久留米城下町遺跡第2次調査の再整理については、呉服町地区の遺物再点検・台帳整理を進めている。

体験学習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

主な普及活動として、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴う企画展を、六ツ門図書館展示コーナーを会場として開催した。会期は8月21日から11月3日の予定であったが、当時新型コロナウイルス感染者が増大しつつあった状況に鑑み、8月・9月は公開を中止とした。残る10月1日から11月3日の期間に1,010名の見学者を得ている。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

#### (2) 入館者数

令和3年度の当センター入館者総数は317人であった。元年度までの1,100人以上の入館者数からすると大幅減となったが、これは9月、2・3月の3か月間を新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館したこと、および11月に「えーるピア久留米」を主会場として多くの子どもや保護者が参加していた「マナビイランド」も中止となったことによる。

令和3年度月別入館者推移一覧

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
人数	57	14	21	46	4	0	49	49	43	34	0	0	317

#### (3) 資料活用

##### ① 資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が3件45点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。各種展示会などの中止により、件数・点数は減少した。

R3	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	4/1~3/31	九州歴史資料館	常設展示	中原狐塚古墳出土 土師器台付壺1点 須恵器高坏1点、須恵器ハソウ1点、鉄鏃13点、鉄刀子1点、三累環頭2点、正福寺遺跡出土どんぐり入り編みカゴ1点、筑後国府	32

				跡出土 土器（東限大溝出土）7点、「守館」銘墨書土器1点、イスラム器2点、筑後国分寺跡出土 軒丸瓦（創建期）1点、軒平瓦（創建期）1点	
2	4/1～3/31	九州国立博物館	常設展示	野口遺跡轟B式土器1点、正福寺遺跡出土編籠1点、野口遺跡出土石匙2点、磨製石斧1点、家形埴輪1点、城下町遺跡2次（両替町）十文字瓦2点	8
3	6/23～7/2	個人	個人研究のため	『讃岐国府跡2』ほか発掘調査報告書	5
合 計					45

## ②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が9件130点提出された。

この申請について全てを許可した。

R3	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	個人	学術論文投稿	5	京隈侍屋敷遺跡出土銃弾写真
2	株式会社アクロ	NHK テレビ番組で紹介	7	正福寺遺跡出土品・出土状況写真
3	個人	学術論文掲載用	4	正福寺遺跡出土遺物の科学分析結果
4	株式会社朝日新聞出版	雑誌掲載	2	高三瀦遺跡第4次検出大溝遺物出土状況写真
5	株式会社国書刊行会	雑誌掲載	2	正福寺遺跡出土アミ籠写真
6	個人	論文掲載	5	狐塚古墳出土大刀柄頭・装具実測図
7	三瀦小学校	高三瀦遺跡関係写真	4	学校HP掲載
8	有馬記念館保存会	久留米城下町出土遺物	106	平常展案内用
9	一般財団法人大阪文化財協会	パンフレット掲載	1	東野亭焼窯跡出土土瓶写真

合 計 132

### ③資料の閲覧

12件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

R3	閲覧者 または 団体名	目 的	日 付	資 料 名
1	個人	個人研究のため	4月1日	『高良山総合調査報告書』他市内報告書
2	クラブツーリズム	歴史探訪ツアー	4月16日	展示室見学
3	個人	個人研究のため	5月10日	小倉城三の丸発掘調査報告書
4	個人	個人研究のため	7月1日	『長登銅山跡』発掘調査報告書
5	個人	博士論文作成	10月1日	市内出土鉄製鋤先 26点
6	個人	卒業論文作成	10月26日	神道遺跡出土石器 2点
7	株式会社パスコ	報告書作成のため	11月1日	朝妻窯跡出土品
8	個人	個人研究のため	11月8日	水分遺跡出土朱付き土器
9	個人	卒業論文作成	12月13日	久留米市・うきは市発掘調査報告書
10	個人	講演資料作成	12月22日	石櫃山古墳、大谷古墳発掘調査報告書
11	個人	卒業論文作成	12月27日	久留米市・うきは市発掘調査報告書
12	個人	個人研究のため	3月17日	姫路市発行発掘調査報告書

### ④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは1件であった。

R3	見学者または団体名	目 的	日 付	人数
1	クラーク国際記念学校	歴史学習	12月22日	2名
合計				2名

#### (4) 地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業

令和3年度における国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡（第59・122次）

- ・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 78箱

(5) 図書類

◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：850冊

◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.753～767（ニュー・サイエンス社）

『文化財発掘出土情報』通巻479号～490号（株）ジャパン通信情報センター）



## IV. 文化財保存・整備事業

令和3年度に係る事業は、収蔵資料の補修1件、建造物関連事業1件、史跡等の整備に係る事業3件、名勝・天然記念物保存事業1件、歴史資料調査事業1件、文化財保存活用地域計画の認定事務を行っている。

### 1. 有形文化財・民俗文化財

#### (1) 収蔵資料補修事業

令和3年度の収蔵資料補修事業は、「小野川才助化粧まわし」について、株式会社松鶴堂に委託して実施した。

山本郡高畑村（現久留米市善導寺町）出身で、幕末～明治初期に活躍した久留米藩お抱え力士である小野川才助の化粧まわしで、制作は江戸時代末期～明治時代初期である。表地・裏地・覆輪・馬簾部分で構成される。

#### ア) 現状

全体に汚れや折れ皺が目立つ。水損による汚損、収納時の擦れや皺に加え、経年劣化による資料の脆弱化が懸念される状態である。

#### イ) 修復方針

適切な保存及び活用に影響を及ぼす状態を改善することを目的とした。主に、全体のクリーニング、折れ皺の緩和、金糸刺繍部分の網模様の整え作業を実施した。

#### ウ) 修復仕様

クリーニング作業では、表面に付着した泥汚れや埃除去を行う。清掃方法としては、水を用いず柔らかな筆や不織布、吸引などを用いて汚れを軽減させる。不十分であった場合に必要と判断されれば水を用いたクリーニングを行う。

整形作業では、裏面から補強を必要としない箇所の皺伸ばし、整形を行う。

#### エ) 工期

令和3年6月～令和4年3月で実施した。京都国立博物館工房において行った。

#### (2) 建造物関連事業

##### ①歴史的建造物等調査事業

令和3年度は、久留米餅を近代の産業として発展させた旧國武合名会社の倉庫と綿糸部及び倉庫について調査を実施した。両建物は久留米餅の発展史を考えるうえで貴重なもので、将来的な保存と活用を図るべく調査を実施することとなった。倉庫の竣工年代は不明であったが、周囲の建造物との比較や鉦滓レンガの制作年代などから明治43年（1910）～大正7年（1918）の建設と想定され、綿糸部及び倉庫は棟札より大正11年（1922）に竣工したことが判明した。本市では現存する久留米餅に

関する建造物として貴重であり、商都久留米を象徴する歴史的建造物でもある。今後、国登録有形文化財への意見具申を予定している。

## 2. 記念物

### (1) 史跡等の整備に係る事業

#### ① 筑後国府跡歴史公園整備事業

令和3年度は、前年度に作成した保存活用計画に基づき史跡地の維持管理を実施するとともに、今後の用地取得に向け、移転補償費算定のための物件調査2件を実施した。令和3年度末の公有化面積は、38,789.84㎡（台帳及び実測面積）で、国・市有地を含めると公有化率は、86.16%である。

#### ② 史跡下馬場古墳石室内環境調査

前年度から引き続き、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響と、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データを取得した。

#### ③ 史跡等解説板の改修

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できないものなど4件を改修した。対象は、県指定有形文化財「鹿毛家住宅」、県指定有形文化財「千光寺の梵鐘」、城島町下田地区の文化財、城島町青木地区の文化財である。

### (2) 名勝・天然記念物保存事業

#### ① 県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

令和4年2月24日に剪定作業を柳坂ハゼ並木保存会、県立久留米筑水高等学校とともに実施した。1日かけて総勢60名での作業となり、施肥も実施している。

## 3. 久留米市文化財保存活用地域計画作成事業

社会情勢の変化の中で急速に消滅していく文化財を保護していくため、市町村における文化財の保存活用に関する目標や取組を記した法定計画「文化財保存活用地域計画」の作成が文化財保護法に盛り込まれた。これを受けて、令和元年度から2ヵ年の国庫補助事業として、本市の歴史遺産を未来へつなぐ仕組みと具体的な取組を明確にするとともに、計画的かつ持続的な歴史文化のまちづくりを実現することを目的として作成した。令和3年度は文化庁長官による認定を受けるため、文化庁と協議を進め、令和3年7月に福岡県初（九州で2例目）の認定を受けることができた。

## 4. 歴史ルートづくり事業

### (1) 高良山総合調査

高良山は古代より近世にかけて神仏習合の山として、また北部九州の政治・軍事拠点として栄えた。近代以降には、筑後地域を代表する観光名所の一つとなっている。

高良山の中核となる高良大社には、その長い歴史の流れとともに蓄積された多彩な歴史資料が伝来する。また、明治の神仏分離令に伴い、仏像や仏画、建築・石造物など寺院にかかる文化財は、高良山から市内外各所に移されている。多くは未調査、未指定文化財であり、総合的な状況把握と保存活用のための基礎資料作成を進めている。

平成 29～令和元年度に国庫補助を受けて実施した第 1 次調査「高良大社所蔵歴史資料」に続き、令和 2 年度より第 2 次調査「福聚寺所蔵歴史資料」、第 3 次調査「旧高良山大猷院殿石燈籠」を実施している。

また、第 1 次調査の成果報告と今後の保存活用について、シンポジウムを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった。

## **(2) 情報発信事業**

令和 3 年 (2021) の有馬豊氏久留米入城 400 年の一環として、ストーリーシート 8 「有馬の城づくり、町づくり 其の貳～東部編～」を発行した。その紹介動画として、前年度発行の西部編とあわせて、入門編 1 本・応用編 2 本をリリースした。

また、イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。

## **(3) 拠点管理事業**

大塚古墳歴史公園及び大塚古墳の管理清掃、草刈り、樹木剪定を実施し、市民が来園しやすい拠点づくりに取り組んだ。

また、下馬場古墳の計画的な樹木伐採による史跡の保護に取り組んだ。

## V. 文化財管理事業

### 1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

令和3年度は、12団体に補助金を交付した。

#### (1) 文化財保護団体（9団体）

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| ①大善寺玉垂宮鬼夜保存会    | 重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体    |
| ②花火動乱蜂保存会       | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体         |
| ③北野天満神社神幸行事保存会  | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体  |
| ④草野風流保存会        | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸行事」管理団体 |
| ⑤若宮八幡宮御神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮の神幸行事」管理団体  |
| ⑥御井町風流保存会       | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体       |
| ⑦八丁島御供納保存会      | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体     |
| ⑧満月会保存会         | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体   |
| ⑨高良山同志会         | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体      |

#### (2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体（3団体）

- ①久留米郷土研究会
- ②山川校区郷土研究会
- ③田主丸郷土会

### 2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を5団体及び個人1名と随意契約にて管理委託し、指定史跡3ヶ所の草刈りについては、指名競争入札により業者に業務委託している。

#### (1) 指定文化財の管理業務

##### 【団体委託】

- |          |            |                               |
|----------|------------|-------------------------------|
| ・浦山古墳    | 国指定史跡      | 保存庫の施錠管理、見学者の応対。成田山久留米分院      |
| ・高良山神籠石  | 国指定史跡      | 高良山神籠石の清掃、見回り点検。高良大社          |
| ・日輪寺古墳   | 国指定史跡      | 保存庫の施錠管理、見学者の応対。日輪寺           |
| ・目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物 | 市有地の草刈り、清掃を年3回実施。安武校区まちづくり振興会 |
| ・吉積遺跡公園  | 市指定史跡      | 公園内の草刈り、清掃、見回り点検。赤司一区自治会      |

##### 【個人委託】

- ・大善寺旧庫裡 市指定有形文化財（建造物） 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検。個人  
【業者委託】
- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・田主丸大塚古墳 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃、消毒、施肥。年3回実施

## （2）歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）である石浦大橋を含む公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚・権現塚史跡の広場 国指定史跡である御塚古墳、権現塚古墳と公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡である田主丸大塚古墳に隣接する歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

## 3. 防犯・防災事業

### （1）文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。令和3年度は令和4年1月に大善寺町夜明の朝日寺での開催を予定していたが、新型コロナの影響により中止した。

### （2）防災施設設置及び管理事業

文化財を火災から守るための防災施設の保守点検等に関する補助金を交付している。

令和3年度は、次のとおり補助金を交付した。

・梅林寺有馬家霊屋	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	梅林寺
・高良大社本殿他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	高良大社
・善導寺木造善導大師坐像他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	善導寺
・専念寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	専念寺
・無量寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	無量寺
・国分寺地藏来迎図板碑	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	国分寺
・朝日寺木造神子栄尊坐像	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	朝日寺
・須佐能袁神社本殿、拝殿及び楼門	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	須佐能袁神社
・鹿毛家住宅	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人
・上野家住宅御成間	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人

## VI. 歴史資料保存活用事業

昭和 58 年（1983）4 月に設置した久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

令和 3 年度の資料の収集は、寄贈 14 件（352 点）、移管 2 件（2 点）、採集 10 件（125 点）であった。

資料の活用は、貸出 11 件（91 点）、印刷物掲載等 67 件（357 点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 13 件（668 点）にも対応している。

### 1. 資料の収集・保存

#### （1）収集

##### ①寄贈（352 点）

資料群名	時代	寄贈者	数量（点）
武田博子家資料	昭和戦前・戦後期	武田博子	38
武谷家資料（第 2 次）	昭和戦後期	武谷 茂	50
藏守家資料	大正時代～昭和戦後期	藏守香織	26
吉田二八郎家資料	昭和 21 年	吉田二八郎	2
木下昌博家資料	昭和 14～19 年	木下昌博	24
鶴田家資料（第 2 次）	昭和戦前期	鶴田俊一	32
地図 （ADMINISTRATIVE UNIT NAMES FOR KURUME 米国作成 1945 年）	昭和 20 年	Paul Kawachi （川内豊流）	1
平田家資料	江戸時代～昭和戦後期	平田孝之	133
吉武家資料	江戸時代	吉武修一	4
橋本氏コレクション	近代	匿名	3
宇都宮家資料（第 2 次）	昭和戦前期	匿名	2
一七式防空用防毒面	昭和戦前期	匿名	1
ナショナル自動アイロン	昭和 31 年	久保山隆吉	1
西田家資料	明治時代～昭和戦前期	柿本富久子	35

②移管（2点）

資料群名	時代	寄託者	数量（式）
白臘脂糸緘胴丸具足	江戸時代	久留米市立城島小学校	1
当世具足	江戸時代中～後期頃	久留米市立日吉小学校	1

③採集（125点）

資料名	時代	数量（点）
田主丸町航空写真フィルム	平成時代	3
ゼンリン住宅地図	平成時代	11
西分館採集資料	大正時代～昭和戦前期	87
通告表	大正時代	5
福光大庄屋内田家墓改葬写真	昭和戦後期	2
観光絵はがき	昭和戦後期	7
歴史教科書	昭和12年・21年	3
ダブルカセットデッキ・一眼レフカメラ（35mm）	現代	2
渡辺家資料	昭和戦前期～昭和30年代	4
釘抜紋鬼瓦	江戸時代	1

④刊行物

・寄贈図書：157冊

・定期購読：24冊

『月刊文化財』No.691～702（第一法規株式会社）

『博物館研究』Vol.56・No.4～Vol.57・No.3（公益財団法人日本博物館協会）

（2）保存

①燻蒸

・南町文化財収蔵庫（久留米市南1丁目6-1）

期 間：令和3年8月16日～16日

場 所：2階収蔵庫 床面積240.24㎡×高さ2.7m＝648.648㎡

・田主丸収蔵庫（久留米市田主丸町田主丸770-1）

期 間：令和3年8月22日～22日

場 所：1階収蔵庫 床面積 129.6 m<sup>2</sup>×高さ 2.7m=349.92 m<sup>3</sup>

薬剤は、殺虫効果、忌避効果、即効性に優れた燻蒸薬剤ミラクンGXを使用

## 2. 資料の活用

### (1) 貸出 (91点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	久留米市人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
6月15日～6月22日	久留米市高良内小学校	国語学習の教材として	こま (参考資料含む)	6
8月4日～12月3日	公益財団法人有馬記念館保存会	久留米入城400年記念企画展Ⅱ「有馬の城づくり、町づくり」における展示公開のため	篠山城図ほか	15
9月中旬～12月上旬	港区立郷土歴史館	令和3年度特別展示「人形 一人とともにあるもの一」に出展のため	弓曳童子・DVD(弓曳童子)	2
12月2日～ 4月8日	公益財団法人有馬記念館保存会	久留米入城400年記念企画展Ⅱ「久留米藩領文化-祈りのかたち・風雅のこころ-」における展示公開のため	有馬豊氏書状ほか	16
1月11日～ 2月4日	久留米市立安武小学校	社会科「うつりかわる道具とくらし」の学習のため	ダイヤル式黒電話機ほか	4
1月18日～ 1月21日	福岡教育大学附属久留米小学校	社会科「うつりかわる道具とくらし」の学習のため	氷冷蔵庫、いぐり、おひつ、つりこしじょうけ、石臼	7
2月14日～ 2月18日	久留米市立京町小学校	社会科「うつりかわる道具とくらし」の学習のため	石臼、洗濯板、たらい	10
2月21日～2月28日	大牟田市立三池小学校	社会科「うつりかわる道具とくらし」の学習のため	石臼	3
3月10日 ～3月31日	佐賀市教育委員会 (佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館)	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館リニューアルオープン展示企画「田中久重と三重津海軍所～汽砲雷幾般ヲエス～」における展示公開のため	文字書き人形 田中久重湿版写真 無尽灯引札 短エンフィールド銃、ヤダカン銃剣	5



期間	申請機関等	目的	資料名等	点数
4月11日～ 1月13日	公益財団法人 有馬記念館保 存会	平常展「大名有馬家と久 留米城下町」での展示公 開のため	徳川家康書状ほか	22

(2) 印刷物掲載等 (357点)

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
4月9日	個人	論文誌Arts Asiatiques投稿 論文掲載のため	旧久留米市庁舎ライオン 装飾部材写真	2
4月19日	NORMA JEAN	NORMA JEAN5月号特集 「有馬がつくった久留米」掲載 のため	写真「明治初期の久留米 城」他	4
4月20日	個人	古文書講座に使用のため	目附足軽言上書	1
4月22日	ダンクプランニング	株式会社ハーバルアイの会報 誌掲載。「時計の日」紹介のため。	田中久重肖像画	1
4月26日	プラン・ドゥ・オフィス	発行している観光ガイドに掲載 のため	天保年間久留米城下図、 明治時代の久留米城・篠 山城図	3
4月26日	港区歴史資料館	令和3年度特別展示図録「人 形 一人とともにあるもの 一」に掲載のため	弓曳童子	1
5月6日	久留米市上下水道 部	広報「水だより(令和3年6月1 日号)」に掲載のため	写真「本町道路拡張工 事・2丁目より1丁目」(昭 和年夏)	1
5月14日	西日本新聞社 久留米総局	西日本新聞の記事に掲載する ため	昭和十年水害被害状況 調査表	1
5月21日	個人	西日本文化に掲載のため	娼妓所得金日記帳	1
5月28日	株ビックベン	「マルエ醤油(株)」の動画制作 のため	写真「流失した宮ノ陣 木橋」	1
6月3日	文化庁 文化財第二課	「記念物100年」関連事業使 用のため	史跡久留米藩主有馬家 墓所	1
6月3日	文化庁 文化財第二課	「発掘された日本列島2021」 展出品のため	史跡久留米藩主有馬家 墓所に関連する写真等 一式	1
6月11日	久留米生涯学習推 進市民協会	広報誌に入城400年関連記事 を掲載するため	天保年間久留米城下図、 明治時代の久留米城・篠 山城図	3

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
6月14日	久留米市 広報戦略課	九州防衛局広報「広報きゅうしゅう」への掲載	明治時代久留米城写真	1
6月14日	株式会社 九州博報堂	物件案内パンフレットへの使用	天保時代久留米城下図	1
6月14日	(公財)久留米観光コンベンション	ほとめきの街久留米への使用	天保年間久留米城下図	1
6月16日	株式会社ジーヤマ	テレビ東京の番組で使用	弓曳童子	1
6月22日	RKB 毎日放送	RKB「タダイマ!」番組中で使用	家族等白黒写真、久留米高等女学校女学生写真(一人久留米緋の女性)ほか	4
6月28日	公益財団法人 有馬記念館保存会	①久留米入城400年記念企画展Ⅱ「有馬の城づくり、町づくり」における写真パネル展示	写真「明治初期の久留米城」ほか	18
6月28日	公益財団法人 有馬記念館保存会	②同展にかかる広報印刷物(ポスター、チラシ、HP、SNS等)	写真「明治初期の久留米城」ほか	18
6月29日	個人	個人研究	三枝家文書「日田玖珠両郡長崎御廻米海川船運送申極書」ほか	2
6月29日	個人	ご先祖顕彰のため	水野正名像ガラス写真ほか	12
7月2日	個人	個人研究	丹波福知山城之図	1
7月5日	FBS 福岡放送	「めんたいワイド」内で久留米の昔の街の様子を紹介	久留米なつかしマップ掲載の写真	5
7月7日	個人	「日本奇術演目大辞典」に掲載するため	写真「弓曳童子」	1
7月7日	佐賀市歴史・世界遺産課	三重津海軍所跡ガイダンス施設図録掲載のため	田中久重肖像写真	1
7月27日	個人	個人研究	写真「牛島謹爾写真アルバム」ほか	1
7月30日	福岡県市町村公文書館	令和3年度第1回企画展展示のため	「カメラがとらえた久留米の100年」写真	35
8月3日	RKB 毎日放送 情報番組部	番組制作のため	陸軍関係写真	23

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
8月10日	株式会社本作り空 Sora	日本の伝記「知のパイオニア」シリーズ『田中久重と技術』(河本信雄著 玉川大学出版部刊)へ掲載するため	通町絵図ほか	5
8月12日	西日本久留米総局	西日本新聞筑後版の連載で使用するため	写真「明治初期の久留米城」	1
8月13日	個人	地元山本町の郷土史の研究のため	山本郡第四区高椋村名寄帳ほか	1
8月17日	小郡市教育委員会	「ふるさと小郡のあゆみ」改訂版掲載のため	筑州鱒坂住源安盛銘短刀写真	5
8月30日	(株)ファミリーマガジン	「人物で読み解く日本史 365人」に図版として掲載するため	田中久重肖像写真	65
8月30日	個人	会報郷土久留米に掲載のため	「カメラがとらえた久留米の100年」写真	1
9月13日	KBC九州朝日放送	報道番組「アサデス。」にて資料画像として掲載	写真「明治初期の久留米城」、天保年間久留米城下図	1
9月30日	個人	田主丸の歴史に関する調査	新宮社記録	2
10月4日	(株)ダイヤモンド社	三菱UFJ銀行会員誌で使用するため	田中久重写真	1
10月4日	個人	卒業論文のため	覚(牛肉豚肉差送候一件)ほか	4
10月6日	一般社団法人久留米焼きとり文化振興会	動画製作のため	カメラがとらえた久留米の100年写真12点	12
10月19日	個人	福岡市東区前出称名寺調査の一環として	会計出納手覚ほか	2
10月21日	公益財団法人有馬記念館保存会	①久留米入城400年記念企画展Ⅲ「久留米藩領文化」におけるパネル展示	柳原焼 黄釉肩衝茶入ほか	16
10月21日	公益財団法人有馬記念館保存会	②同展にかかる広報印刷物(ポスター、チラシ、HP、SNS等)	柳原焼 黄釉肩衝茶入ほか	16
10月30日	有限会社海鳥社	石本猪平「諸国見聞」(翻刻本)に掲載するため	天保時代久留米城下図	1

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
11月1日	株式会社パスコ	発掘調査出土品（柳原焼）調査、研究のため	黄釉肩衝茶入ほか	11
11月4日	NHK 福岡局	「#てれふく 街角ドキュメンタリー久留米バスセンター」放送にて使用するため	カメラがとらえた久留米の100年 写真4点	4
11月17日	個人	田主丸の歴史に関する調査	新宮社宮日一件極書ほか	12
11月17日	個人	祇園祭・蟻螂山をめぐる研究、史料収集	久留米藩京都屋敷図	1
11月29日	佐賀市教育委員会 社会教育課	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館リニューアル記念企画展に関する広報及び刊行印刷物への掲載	文字書き人形他	4
11月30日	佐賀市歴史・世界遺産課	ホームページ掲載のため	田中久重肖像写真	1
12月8日	個人	資料閲覧時の記録のため	牡丹孔雀図屏風	1
12月10日	株式会社パスコ	調査報告書で久留米藩の江戸藩邸を分析するため	久留米藩江戸上屋敷図	1
12月15日	株式会社ツクリテ	株式会社ツクリテ発行「cocomi」1月号（令和3年12月25日発行予定）	「筑後高良神社阪下ノ景是ヨリ御本殿四丁右大学稻荷宮五丁」	3
12月15日	個人	久留米藩の江戸藩邸および藩士の江戸滞在を分析するため	久留米藩江戸上屋敷図ほか	3
12月27日	個人	古文書講座に使用のため	乍憚奉申上覚（申五月十八日阿部信次殿方江差出候書付の控）	2
1月6日	個人	久留米藩の江戸藩邸および藩士の江戸滞在を分析するため	精姫君御引移外公私諸控ほか	14
1月12日	個人	古文書講座に使用のため	旅船出入帳ほか	2
1月13日	個人	卒業論文のため	協救社養豚場相営一件	1
1月19日	公益財団法人 久留米絣技術保存会	久留米絣イメージ写真に撮影のため	糸車	1
1月26日	(株)マサヨシ	店舗へのパネル掲載のため	三本松遺跡写真、天保図	2

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
1月26日	株式会社 オカモト商店	クラウドファンディングへの 掲載のため	久留米高等女学校女学 生写真（五人袴姿）ほ か	3
2月4日	御井校区まちづくり 振興会	校区の広報活動のため	ドイツ兵捕虜写真	3
2月18日	個人	久留米郷土研究会会報へ掲載 のため	明治44年頃神代渡河 訓練写真ほか	2
2月28日	三木市	「新三木市史地域編10」に掲 載するため	「米府紀事略」写真	1
3月17日	公益財団法人 有馬記念館保存会	令和4年度有馬記念館年間ス ケジュールへの掲載のため	徳川家康書状、小代写 茶碗、乍恐奉願上覚	3
3月17日	文化庁政策課文化 発信室アーカイブ係	「文化遺産オンライン」リニ ューアル	久留米大学本館（国登 録に際し撮影）	1
3月14日	個人	研究のため	活字布告ほか	13
3月17日	公益財団法人 有馬記念館保存会	平常展「大名有馬家と久留米 城下町」における、広報媒体 及び制作物への掲載のため	徳川家康書状ほか	22
3月30日	小郡市教育委員会	市政施行50周年記念 久留 米大学との包括連携協定企画 展示『「大原道の記」と150 年前の小郡』での掲示および 印刷物掲載のため	筑後川合戦図	1

以上

## Ⅶ. 文化財の活用・周知普及

### 1. 公開・活用事業

#### (1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100 m<sup>2</sup>を常設展、168 m<sup>2</sup>を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間および台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、令和 3 年度は当課主催 3 回、他部局主催 1 回を開催した。

また、例年、むかしの暮らし展において小学校の団体見学を受け入れているが、令和 2 年度に続き、令和 3 年度についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から団体見学の受け入れを中止した。その代替措置として、動画を製作しインターネットで配信、学校教育を支援した。

令和 3 年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	常設展 「カメラがとらえた久留米の 100 年」	4 月 1 日～3 月 31 日 (下記 2～4 会期以外)	1,140
2	「オリンピックとパラリンピック」 パネル展	4 月 29 日～5 月 25 日	131
3	発掘でよみがえる久留米城下町展	10 月 1 日～11 月 3 日	1,010
4	むかしの暮らし展 -昭和のあそび-	11 月 20 日～3 月 21 日	3,149
総入館者数			5,430

\* 主催は、2 は協働推進部人権啓発センター、1・3・4 は文化財保護課

令和 3 年度動画配信

No.	動画名	配信期間	再生回数
1	むかしのどうぐ	4 月 1 日～3 月 31 日	2,904
2	発掘でよみがえる久留米城下町展	10 月 22 日～3 月 31 日	198
3	むかしの暮らし展-昭和のあそび-	12 月 25 日～3 月 31 日	378

動画再生数 3,780 回

\* むかしの暮らし動画は、久留米市公式 YouTube チャンネルにて配信中

## (2) 久留米市埋蔵文化財センター

### 企画展

六ツ門図書館展示コーナーを会場として、「発掘でよみがえる久留米城下町展」を開催。会期は8月21日～11月3日と設定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため8～9月は会場閉鎖となり、実質10月1日～11月3日を期間とした展示公開となった。見学者は1,010名。

関連行事として開催予定であった、久留米城下町発掘調査をテーマとした講演会、および体験学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## (3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であると同時に、久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性により、平成15年7月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

令和3年度は福岡県による「福岡県美しい景観形成推進補助事業」を受けて、外壁板改修事業を行い、外壁板の塗装や土壁の補修などを実施した。

【令和3年度】 年間来場者数：2,428人 貸室件数：7件

※令和3年5月12日（火）～6月21日（月）および同年8月10日（火）～9月30日（木）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

### <季節行事>

	期間	内容
七夕まつり	令和3年7月2日（金）～8月8日（日）	来館者が短冊に願い事を書いて笹竹に飾る
ひなまつり	令和4年3月1日（火）～3月26日（日）	坂本家に伝わる雛人形を展示

### <体験事業>

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験型のイベント実施なし

## (4) 歴史探訪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は中止した。

## (5) 久留米入城400年事業

令和3年、久留米藩21万石の初代藩主有馬豊氏が久留米城に入って400年の節目を迎えるにあたり、これまでの400年に思いを馳せるとともに、この機会を新たな100年の出発点と捉え、記念展の開催や関連情報の発信、地域と連携したグッズ販売等を行った。

<展示>

企画名	概要
久留米入城 400 年記念展	期間：令和 3 年 11 月 9 日（火）～ 12 月 28 日（火） 会場：県庁よかもんひろば 内容：歴代藩主や久留米城について、パネルや複製資料で紹介。来場者数約 4,000 人
	期間：令和 4 年 2 月 4 日（金）～ 2 月 17 日（木） 会場：えーるピアくるめ 内容：歴代藩主や久留米城について、パネルや複製資料で紹介。来場者数不明。（受付を設けなかったため）

<地域との連携>

企画名	概要
オリジナルグッズ・メニューの展開	内容：地元事業者と連携し、入城 400 年にちなんだグッズや食事メニューを考案・提供。 ・オリジナルグッズ⇒ 14 種 ・食事メニュー ⇒ 10 種
観光案内 「歴史ルートめぐり」	内容：観光コンベンションと連携し、観光案内所でのストーリーシートを活用した歴史ルートの案内や入城 400 年事業の紹介。

<情報発信>

企画名	概要
「久留米入城 400 年モノ語り」連載	期間：令和 2 年 10 月から令和 3 年 12 月 内容：月に 1 回のペースで、久留米入城 400 年にちなんだ「モノ＝文化財」を軸に、現在見学可能なスポット等と合わせて紹介。
デジタルサイネージ活用	日時：令和 3 年 7 月～9 月 内容：JR 久留米駅にあるデジタルサイネージを利用した、事業と関連イベントの周知。

<中止事業>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業。

- ・久留米入城 400 年記念 雅楽レクチャーコンサート「雅楽はすごい！」  
令和 3 年 8 月 18 日（水） 久留米シティプラザ久留米座
- ・大名有馬家久留米入城 400 年記念「雅楽 源氏物語」  
令和 3 年 9 月 19 日（日） 久留米シティプラザ ザ・グランドホール
- ・久留米城下町めぐり



令和3年9月20日（月・祝） 久留米市街

- ・入城400年記念「高良山シンポジウム」

令和3年11月 久留米シティプラザ

- ・久留米城3D復元映像作成・発表

令和4年3月

## （6）第8回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展

新型コロナの影響により「久留米市理科作品展」は規模を縮小して実施し、からくり儀右衛門大賞の募集ならびに作品選考も2年ぶりに実施できた。選考作品については市のホームページ上で公開した。

## （7）第28回全国重要無形文化財保持団体秀作展

重要無形文化財久留米絣を有する久留米市が加盟している全国重要無形文化財保持団体協議会（略称「全重協」）において、美濃市にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により延期となった。

## 2. 協働・支援活動

### （1）出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取り組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の従来の2つのメニューに、令和2年度からは翌年に迎える初代久留米藩主有馬豊氏の久留米入城400年をPRする目的で「久留米入城400年」を加え、前年度に続けて3つのメニューで実施した。新型コロナウイルスの影響もあり、当初に予定していた52講座のうち、16件がキャンセルとなったが、計36回の出前講座を実施した。特に体験メニューは1回のみで開催となった。

#### ① 私のまちの歴史と文化財

開催回数：23回

受講人数：608名

主な内容：校区コミュニティセンターの委嘱学級や市民団体を対象に、校区の歴史、久留米市の歴史、また個別テーマを設けて講座を開催。

#### ② 久留米入城400年に向けて

開催回数：12回

受講人数：292名

主な内容：校区コミュニティセンターの委嘱学級や企業、市民団体を対象に、主に久留米城や城下町の成り立ち、久留米藩主有馬氏に関する講座を開催。

#### ③ 歴史を体験

開催回数：1回

受講人数：36名

主な内容：小学校で、むかしの道具を使った体験学習を開催。

## (2) 学芸員実習受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れはせず。

## (3) えーるピア久留米関連

久留米市生きがい健康づくり財団より依頼を受け、財団主催の社会貢献事業「見る！知る！くるめミュージアムセミナー」の一環として、講演「久留米藩領文化～祈りのかたち・風雅のころ～」と「久留米入城 400 年記念」展を開催。

## 3. 刊行物等

### (1) 久留米市文化財調査報告書

6冊の文化財調査報告書を刊行。

1. 久留米市文化財調査報告書第 432 集『令和 3 年度久留米市内遺跡群』
2. 久留米市文化財調査報告書第 433 集『国指定史跡 筑後国府跡 - 国司館地区 1 -』
3. 久留米市文化財調査報告書第 434 集『へボノ木遺跡 - 第 74 次発掘調査報告 - 』
4. 久留米市文化財調査報告書第 435 集『筑後国府跡 - 第 245・246・296 発掘調査報告 - 』
5. 久留米市文化財調査報告書第 436 集『久留米市埋蔵文化財調査集報 22』
6. 久留米市文化財調査報告書第 437 集『筑後国府跡 - 第 298 次発掘調査報告 - 』

### (2) その他の刊行物

#### ① 収蔵館ニュース

収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年 1 回発行。同 17 年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。令和 3 年度は第 18 号を発行（改題通算 44 号）。

② 歴史のまち久留米・ストーリーシート 8 「有馬の城づくり、町づくり 其の式 - 東部編 - 」

### (3) 文化財説明板作成設置

例年、久留米市内の指定文化財を中心に、文化財を解説する案内板を設置・修繕している。令和 3 年度は「城島町文化財マップ位置図（下田校区）」、「城島町文化財マップ位置図（下田校区）」、「鹿毛家住宅」、「梵鐘（千光寺）」について改修を実施した。

## (2) 令和4年度の事業概要

### I. 文化財保護課の体制

久留米市		〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.lg.jp			
		課長	チームリーダー	事務職	文化財職
<p>市長 原口 新五</p> <p>副市長 橋本 政孝 森 望</p> <p>教育長 井上 謙介 0942-30-9000</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 竹村 政高 市民文化部次長 深堀 尚子</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保存) 0942-30-9323 (同) FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 田中 健二			<p>主査 小澤 太郎</p> <p>事務主査 江島 伸彦</p> <p>熊代 昌之 廣木 誠 西 拓巳 小川原 励 長谷川 桃子 水原 道範(再) 米澤 美詠子(会) 宮崎 彩香(会) 今村 理恵(会)</p>
	課長兼埋蔵文化財 センター所長 水島 秀雄	文化財保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦 白木 守	事務主査 岡崎 明美	<p>小野 淳子(任)</p> <p>辻 貴子 小川 和範 荻野 翼 内堀 一弘(再) 山中 貴子(任)</p>	<p>事務主査 塚本 映子 神保 公久 穴井 綾香</p> <p>本田 岳秋 大塚 麻理子 村上 春海</p> <p>文化財収蔵館 寺崎 勝美(会) 石橋 久美子(会) 田中 淳子(会)</p>
			事務主査 鹿田 章(再)	六ツ門図書館展示コーナー	大田 佑子(会)
六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281	(公財)久留米絃技術保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江		
有馬記念館 TEL/FAX 0942-39-8485	(公財)有馬記念館保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 白木 守	岡崎 明美 内堀 一弘	神保 公久 穴井 綾香 大塚 麻理子 村上 春海	

(再)は再任用職員、(会)は会計年度任用職員、(任)は任期付短時間勤務職員の略。

朱書きは令和4年度当課配属職員

## Ⅱ. 埋蔵文化財調査事業

### 1. 事前確認及び発掘調査事業

令和4年度は、大型宅地開発の事案が安武町で進行中であり、新型コロナウイルス感染症が収束しない中、西鉄天神大牟田線沿線の大善寺・三潯町を中心に戸建てや宅地分譲などの民間開発が減少することなく高止まりしている。

令和4年度 発掘調査一覧（令和5年2月15日現在）

調査番号	遺跡名	調査期間	担当者
202105	益生田古墳群第5次調査	令和3年4月14日～調査中	江島
202114	庄屋野遺跡第8次調査	令和3年12月1日～令和4年6月21日	長谷川
202201	筑後国府跡第312次調査	令和4年4月18日～令和4年5月23日	西
202202	筑後国分尼寺跡第2次調査	令和4年4月11日～令和4年4月26日	小川原
202203	庄屋野遺跡第9次調査	令和4年4月11日～令和4年4月22日	大隈
202204	高三潯遺跡第13次調査	令和4年6月9日～令和4年7月14日	廣木
202205	高倉遺跡第2次調査	令和4年7月5日～令和4年7月29日	小川原
202206	念仏塚遺跡第8次調査	令和4年7月4日～令和4年7月29日	西
202207	庄屋野遺跡第10次調査	令和4年9月8日～令和4年9月22日	長谷川
202208	庄屋野遺跡第11次調査	令和4年9月8日～令和4年9月22日	長谷川
202209	久留米城下町遺跡第31次調査	令和4年10月6日～令和4年12月15日	廣木
202210	庄屋野遺跡第12次調査	令和4年11月8日～令和4年11月28日	長谷川
202211	庄屋野遺跡第13次調査	令和4年11月8日～令和4年11月28日	長谷川
202212	庄屋野遺跡第14次調査	令和4年11月9日～令和4年11月28日	長谷川
202213	今泉遺跡第9次調査	令和4年11月11日～令和4年12月26日	西
202214	三反野遺跡第7次調査	令和5年1月10日～調査中	西
202215	二本木遺跡第32次調査	令和5年2月6日～調査中	長谷川
202216	赤司定格遺跡第2次調査	令和5年2月14日～調査中	小川原

## 2. 埋蔵文化財センター

平成 27 年度より国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」で、筑後国府跡の再整理を行っている。4 年度もⅢ期政庁地区の出土品再整理を継続しており、3 年計画の 2 年目にあたる今年度は、在国司館地区出土品の再整理を行っている。また、久留米城下町遺跡第 2 次調査（両替町遺跡）の出土品再整理を終了した。5 年度には同遺跡の報告書作成準備、および久留米城下町遺跡第 1 次調査（三本松町遺跡）の再整理を行う。

その他、発掘調査を終え報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう、資料を管理し収蔵する。

### Ⅲ. 文化財保存・整備事業

令和4年度に係る事業は、工芸品1点の修復、建造物関連事業3件、史料調査事業2件、史跡等の整備に係る事業2件、名勝・天然記念物保存事業1件、文化財保存活用地域計画に基づく筑後川遺産の新規登録へ向けた取組などである。

#### 1. 有形文化財

##### (1) 収蔵資料補修事業

令和4年度の収蔵資料補修事業は、「絹本著色有馬照長肖像」について実施する。修復作業は熊本市の富永米山堂に委託している。

有馬照長は、8代藩主頼貴より頼徳・頼永・頼咸の4代藩主の国老職を歴任した。名家老として藩士並びに領民の尊敬を集めていた人物。和漢の学に造詣が深く、漢学を樺島石梁に師事していた。政治上のことも樺島石梁に相談することが多く、「太夫の政を為すや、文を崇び士を率ひ」と評されるように、文学を政治の資としていた。

天明元年（1781）4月18日生。嘉永4年（1851）7月13日没。享年71。

##### ①現状

品質及び形状

掛幅装（行の真）

一文字・廻し・風帯	茶地小牡丹唐草文金襴
中縁	薄茶地鳳凰に牡丹唐草文緞子
天地	浅黄宝冠文緞子
軸首	紫檀撥軸
外題	なし
箱	あり

絹本の本紙で虫損が数カ所見受けられる。絵の具の剥落はあまり無く、折れも少ないようであるが、シミの発生が確認される。表具裂に虫損の発生が多数見受けられ、特に天地の裂に虫損が甚だしい。糊浮き及び糊離れも見受けられる。掛緒は切れている。このままでの展示開陳は不適切な状況である。

##### ②修復方針

本紙の旧裏打紙の除去を行い、虫損箇所の補絹を似寄りの補修絹で行う。美濃紙と混合糊にて肌裏打ちを行う。

絵の具の剥落止めを行い、本紙の折れ及び将来折れの発生が予測される箇所に折り伏せを入れる。補修以外は全て元裂を再使用する。軸首は元の軸首を使用し、桐太巻芯添葉籠箱と包裂を新調して収納保存を行う。

事前調査では資料の精査及び写真撮影を実施し、作品の現状を確認した上で改めて修復処置内容の検討を行う。修復方針により作業をすすめ、作業方法については、文化財保護課と協議を行う。

### ③工期

令和4年5月から令和5年3月まで実施する。

令和4年9月30日に、富永米山堂工房において経過確認を行い、今後の作業方針及び行程について協議をおこなった。令和5年1月からは、本紙裏打ち、虫損補修等を行い、最終確認を経て今年度内に作業を完了する。

## (2) 建造物関連事業

### ①歴史的建造物等調査事業

本事業では、草野町に所在する県指定文化財の須佐能袁神社について詳細調査を実施している。また、令和4年2月に国登録有形文化財に意見具申した篠山神社本殿・拝殿・中門・透塀は、令和4年10月に告示され、国登録有形文化財となった。今後は令和3年度に調査を実施した旧國武合名会社関係建造物等について、国登録有形文化財へ意見具申する予定である。

### ②大善寺旧庫裏の修復事業

市指定有形文化財である大善寺旧庫裏について、経年劣化や自然災害により雨漏りが生じている南西部分の修理方針を定めるため、劣化状況の確認調査を実施した。当該部分は雨漏りの他にも蟻害も確認され、令和5年度に修理工事を実施予定である。

### ③善導寺広間勅使玄関の修理事業

善導寺町の重要文化財・善導寺について、広間勅使玄関の小修理を実施した。勅使玄関は雨樋の詰まりにより、直接、漆喰塀に雨垂れが打ち付けたことによる壁の劣化が原因で、木部にも被害が及んでいた。そのため、県費補助事業として当該部の修理を実施したものである。

## 2. 記念物

### (1) 史跡等の整備に係る事業

#### ①筑後国府跡歴史公園整備事業

令和4年度は公有化を1件実施し、関連して移転補償費の物件再算定調査1件、測量調査1件、不動産鑑定1件を実施している。また、公有化した指定地の除草など、管理事業も引き続き実施している。なお、令和5年3月現在の公有化面積は、38,989.31㎡（台帳及び実測面積）で、国・市有地を含めると公有化率は86.18%である。

#### ②史跡等解説板の改修

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できないものなど4件について改修した。対象は、県指定有形文化財「石造青面金剛像」、市指定史跡「東櫛原今寺遺跡」、藤山甲塚古墳、善院1号墳である。

## (2) 名勝・天然記念物保存事業

### ① 県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬から2月上旬に地元と協力を図り、剪定作業を行っているが、本年度は高所部分の一部の剪定と施肥のみ実施している。

## 3. 久留米市文化財保存活用地域計画関連事業

令和3年7月に文化庁長官により認定を受けた本計画を運用するため、リーディングプロジェクトとして設けた筑後川遺産登録制度の本格運用へ向け、実施要綱の策定を進めた。あわせて筑後川遺産の新規登録へ向けた取組を2団体(城島町・田主丸町)と進め、令和5年3月の久留米市文化財保存活用地域計画協議会に諮問予定である。また、本計画や筑後川遺産について周知を図るため、令和4年7月30日～10月4日まで、六ツ門図書館展示コーナーにて企画展を実施している。

## 4. 歴史ルートづくり事業

### (1) 高良山総合調査

第2次調査「福聚寺所蔵歴史資料」(令和2年度～)は、陶磁器を中心に所在確認を行い、保存措置の一環として11月10日に福聚寺本堂・庫裡で曝涼を実施した。第3次調査「旧高良山大猷院殿石燈籠」(令和2年度～)は、実測及び拓本調査のデータ整理を行っている。

また、第4次調査の準備として「国分寺所蔵歴史資料」の現状の概要把握を進めている。

### (2) 梅林寺歴史遺産詳細調査

京町に所在する大名有馬家の菩提寺・梅林寺に所在する歴史遺産の詳細調査を進めた。令和4年度は元来、有馬家墓所(史跡)内に所在していた石燈籠5基について3D測量を実施し、図面作成を行った。

### (3) 情報発信事業

ストーリーシート9「近代くるめとゴム産業」を発行し、本市を代表する産業であるゴム産業に関するストーリーの周知を図った(3月発行予定)。また、六ツ門図書館展示コーナーにて久留米市文化財保存活用地域計画と筑後川遺産に関する企画展を実施している。

### (4) 拠点管理事業

所管する歴史公園や史跡の管理清掃、草刈り、樹木剪定を行い、市民が来園・来訪しやすい拠点づくりに取り組む。また、災害を未然に防ぐために、高良山神籠石指定地の樹木伐採や、国史跡「下馬場古墳」の樹木伐採など、史跡の保護に取り組んでいる。



## IV. 文化財の活用・周知普及

### 1. 公開・活用事業

#### (1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

六ツ門図書館展示コーナーは、平成22年10月の開館以来、毎年1万2千人を超える来館者でにぎわい、令和2年度には開館10周年を迎えた。令和4年度は、令和3年7月に文化庁より認定を受けたことをうけた「久留米市文化財保存活用地域計画」の周知を目的として、企画展「久留米歴史物語」を開催した。また、例年実施している「昔のくらし展」も開催し、歴史文化の周知普及を進めている。

#### ① 企画展「久留米歴史物語―見つけ守り、活かし伝える―」

会期：令和4年7月30日（土）～令和4年10月4日（火）

主旨：令和3年7月に文化庁より認定を受けた「久留米市文化財保存活用地域計画」の周知を図るため、久留米市の歴史遺産保存活用の基本理念である「歴史遺産を見つけ守り、活かし伝える」をテーマとする資料やパネルを展示した。また、市民を対象に、ワークショップ「まちを歩いて歴史探訪―久留米歴史物語」を開催し、身近な場所にある歴史遺産を発見する楽しさや視点に気付いてもらう、まち歩きを実施した。

#### ② 「くらしと道具のいま・むかし―くらしのうつりかわり―」

会期：令和4年12月20日（火）～令和5年3月31日（金）

主旨：例年、小学3年の社会科学習の「むかしのくらし」単元に合わせて、久留米の昔の暮らしをテーマとする展示会を実施している。今年度は、近現代の歴史について、世代を問わず親しみやすい「暮らしの移り変わり」というテーマを通して紹介する資料を展示。展示にあたっては、市内外の小学校との連携を図り、学校教育を支援する。

会期	展示会名	主催	入場者数
4月1日～6月28日	常設展示	市民文化部文化財保護課	1,322名
7月30日～10月4日	久留米歴史物語 ―見つけ守り、活かし伝える―	市民文化部文化財保護課	792名
10月9日～11月7日	久留米大学御井図書館貴重資料企画展「久留米不良収容所の風景―あるドイツ将校の写真帳より―」	市民文化部文化財保護課 久留米大学	641名
11月12日～12月6日	人権パネル展	協働推進部 人権啓発センター	262名
12月20日～3月31日	くらしと道具のいま・むかし ―くらしのうつりかわり―	市民文化部文化財保護課	開催中

## (2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業としては、通年において収蔵資料の貸出及び閲覧に対応できる体制を整える。

展示会等の公開事業としては、常設展示を行う。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止していたえーるピア久留米市民ギャラリーを会場とした展示（久留米市生涯学習センターとの共同事業）を再開し、「筑後川の流れとともに生きる人々の営み～弥生時代編～」と題し、高三瀦遺跡の調査成果を中心とした展示・講座を行う。

## (3) 坂本繁二郎生家活用事業

生家では平成 22 年度の開館以降、様々な体験イベントを実施してきたが、令和 2 年度以降のコロナ禍でイベントは中止しており、今年度も同様の措置を取っている。

令和 4 年度は前年度に続き、福岡県による「福岡県美しい景観形成推進補助事業」を受けて、茅葺屋根改修事業を行い、劣化した茅葺屋根の葺き替えを行った。

【実績】令和 4 年度（令和 5 年 2 月 26 日現在）来館者数：3,680 人 貸室件数：29 件

### <季節行事>

七夕まつり	期間：令和 4 年 7 月 1 日（木）～8 月 7 日（日） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る
ひなまつり	日時：令和 5 年 1 月 31 日（火）～3 月 26 日（日） 内容：坂本家に伝わる雛人形の展示

### <体験事業>

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験型のイベント実施なし

## (4) 歴史探訪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 4 年度についても中止した。

## (5) 久留米入城 400 年事業

令和 3 年度に新型コロナウイルス感染拡大により中止した事業を改めて開催した。

### <公演>

企画名	概要
久留米入城 400 年記念 雅楽レクチャーコンサート「雅楽はすごい！」	期間：令和 4 年 8 月 21 日（日） 会場：久留米シティプラザ 久留米座 内容：日本が世界に誇れる伝統文化である雅楽を分かりやすい解説と実演で紹介。

大名有馬家久留米入城 400 年記念 「雅楽 源氏物語」	期間：令和 4 年 9 月 18 日（日） 会場：久留米シティプラザ ザ・グランドホール 内容：日本の伝統音楽である雅楽を、源氏物語ゆかりの演 目で最高峰の雅楽団体「東京楽所」が演奏。
---------------------------------	---

<地域との連携>

企画名	概要
久留米城 3D 復元映像作成	内容：久留米工業大学や久留米高専と協力し、久留米城の 3D 画像のモデリング及び動画制作を行った。

<情報発信>

企画名	概要
デジタルサイネージ活用	日時：令和 4 年 6 月～ 9 月 内容：J R 久留米駅にあるデジタルサイネージを利用した 事業周知。

**(6) 第 9 回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展**

久留米シティプラザで開催された「久留米市理科作品展」に出品された創作作品の中から、優れた作品を「からくり儀右衛門大賞」として選考。選考作品は市のホームページで公開し、受賞者は学校ごとに表彰していただいた。

**(7) 第 28 回全国重要無形文化財保持団体秀作展**

重要無形文化財久留米餅を有する久留米市が加盟している全国重要無形文化財保持団体協議会（略称「全重協」）において、美濃市にて秀作展を開催した。

<関連企画展> 令和 5 年 2 月 28 日時点

【有馬記念館】

展示会名	概要	入場者数
平常展：大名有馬家と 久留米城下町	期間：令和 4 年 4 月 23 日（土）～ 同 5 年 1 月 4 日（水） 内容：歴代藩主の足跡や城下町に住む人々の暮らしぶ りを紹介。会期中、4 回の展示替えを行った。	2,444 名
企画展：久留米藩と村の人々	期間：令和 5 年 1 月 28 日（土）～ 4 月 16 日（月） 内容：久留米藩と村、享保・宝暦一揆、人々の暮らし などを紹介。	373 名

## 2. 協働・支援活動

### (1) 出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は3つのメニューを設定。令和5年2月末までに受け付けた52講座のうち、2講座は中止となったが、同年2月末までに47講座を実施し、1,200人以上の市民利用があった。

- ① 私のまちの歴史と文化財
- ② 歴史を体験
- ③ 久留米入城400年プラス1

### (2) 学芸員実習受け入れ

令和4年度の学芸員実習は、令和5年8月17日から25日のうち7日間の日程で実施し、久留米大学生2名の受け入れを行った。

## 3. 刊行物等

### (1) 久留米市文化財調査報告書

第437集	『筑後国府跡－中環状地区5－』	令和4年10月
第438集	『庄屋野遺跡－第9次調査－』	令和4年12月
第439集	『安武地区遺跡群2』	令和5年2月
第440集	『山王古墳群－第1・2次調査』	令和5年3月
第441集	『夫婦木間歩－第1次調査－』	令和5年3月
第442集	『令和4年度久留米市内遺跡群』	令和5年3月
第443集	『十間屋敷遺跡第11次調査・久留米城下町遺跡第30次調査』	令和5年3月
第444集	『高三瀦遺跡第12次調査』	令和5年3月
第445集	『早津崎五反田遺跡第1次調査』	令和5年3月
第446集	『筑後国府跡第312次調査』	令和5年3月
第447集	『筑後国府跡－国司館編2－』	令和5年3月

以上11冊を刊行、もしくは刊行予定である。

### (2) その他の刊行物

- ・収蔵館ニュース 第19号
- ・歴史のまち久留米・ストーリーシート9「近代くるめとゴム産業」

### (3) 文化財説明板作成設置

令和4年度は「石造青面金剛像（日吉神社）」、「藤山甲塚古墳」、「東櫛原今寺遺跡」、「善院1号墳」について改修を実施。また「三本松町遺跡」、「久保遺跡」を新設した。

### (3) 委員からのご意見について

#### 1. 市指定天然記念物 柳坂のアカメヤナギについて

所在地 : 久留米市山本町豊田字ザラメキ 2151 番地 所有者 : 柳坂生産森林組合

指定日 : 平成5年(1993)6月22日指定

指定理由: 地元に残る「柳坂」の地名由来の伝承とあわせて樹齢 200 年以上と考えられる大木であり、その希少価値を充分有している。

員数等 : 1 本 樹高 20m、幹周 2.7m、葉張 10m (指定時)

指定後の経過

平成 19 年 (2007) 3 月

一部に枯死が見られたため、当木の苗を根元に 3 本、切り枝を柳坂のお宮裏(祇園宮)に 1 本、るり公園に 3 本植える。他 1 鉢をつつじセンターハウス内に保管後、再びアカメヤナギ周辺に植樹(平成 20 年 1 月 23 日に確認)。

令和元年(2019)9月12日

樹木医の資格を有する市公園緑地推進課職員による診断。ほぼ枯死状態で大変に危険。治療の見込みなしとの所見。

令和4年(2022)9月7日

台風 11 号による文化財の被害状況確認において、倒木を確認。状況から判断して、倒壊から一定期間が経過しているものと思われた。

令和5年(2023)2月9日～

隣地土地所有者による開発(クヌギ植樹)に支障があるため、一部を裁断し撤去。

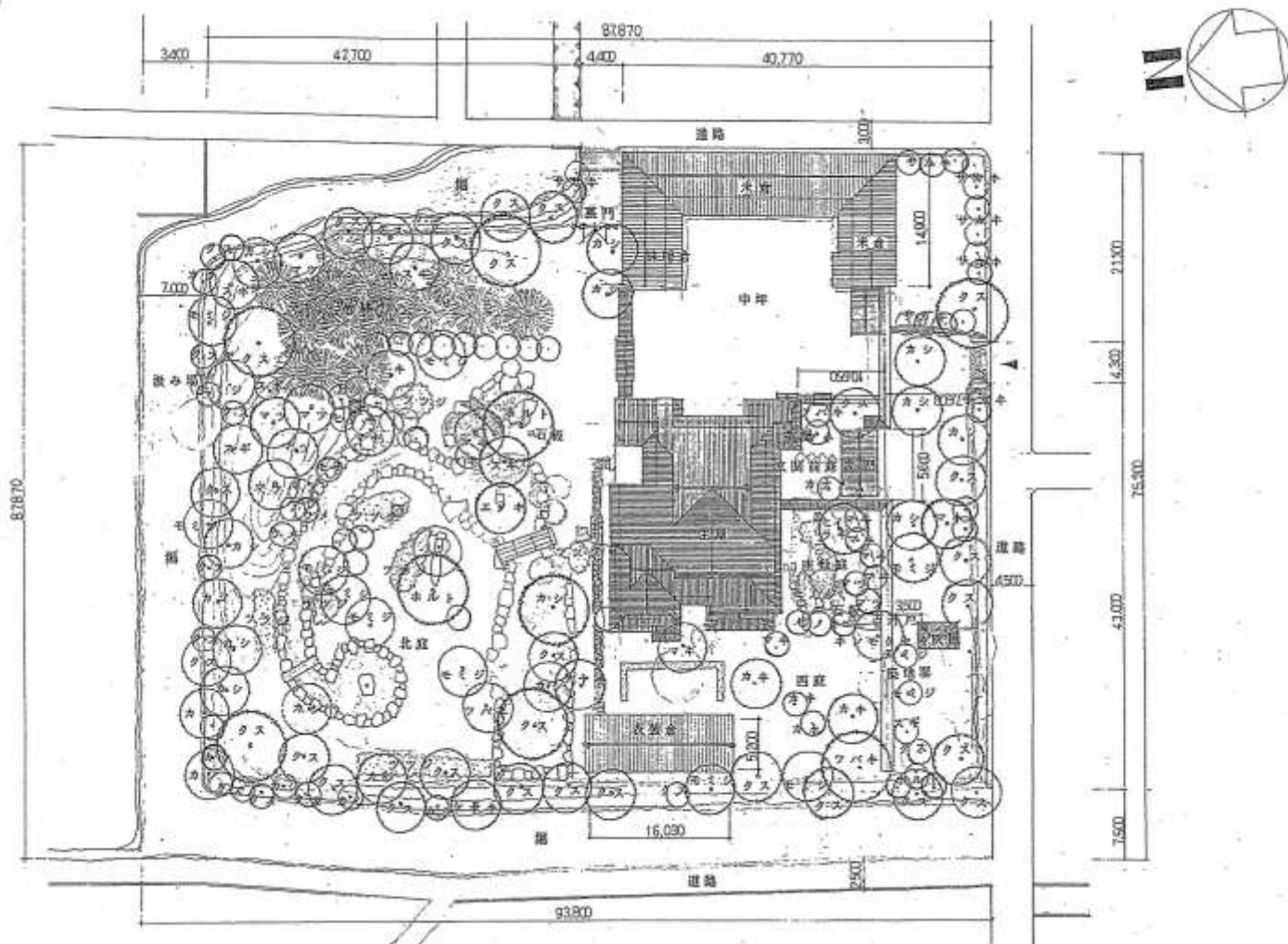


## 2. 光安家本家について

所在地：久留米市北野町赤司字山須

敷地形状：東西約 82m、南北約 92m。敷地綿製約 7,500 m<sup>2</sup>

概要：敷地南半分に家宅を配置、北半分は裏庭とする。建物は主屋・米倉・味噌倉、馬屋、衣装倉、表門等からなり、主屋の座敷南面には座敷庭、米倉・味噌倉の前面には中庭を配する。座敷庭は主屋再建後の明治 14 年（1881）に久留米藩主有馬家専属の庭師に築庭させたもので、敷地北側の裏庭中央部には明治 42 年（1909）に冷水の山家から石を運び築庭したことが石碑碑文から判明する。



光安家配置図

## (4) その他

### 1. 益生田古墳群について

名 称：益生田古墳群

所 在 地：久留米市田主丸町益生田 2272-3、2274-1、2275-3・4・5、  
2276-3、2278-8、2288-2・3

概 要：益生田古墳群は、久留米市田主丸町の南にそびえる耳納山地の北麓、標高80～210mに展開する古墳群で、95基の古墳群が確認されている。その分布域は扇状台地上から急斜面上まで、立地は様々でありAからCの3群に細分されており、今回はA群において調査を実施している。

調査成果:①今回の調査において、敲打を有する装飾古墳である12号墳が確認された。

現存していないものの、益生田古墳群中には彩色系装飾古墳の存在（益生田古墳）が確認されており、彩色系の装飾古墳と敲打系の装飾古墳が同一の群集墳中で併存する稀有な古墳群と言える。

②田主丸大塚古墳を頂点とする耳納北麓の田主丸古墳群を形成した有力集団が、装飾文様の有無、さらにはその技法・配色等で集団の構成を表示していたことを物語る。装飾古墳の展開過程が、益生田古墳群を含む田主丸古墳群内で確認されたことは、6世紀における首長墓と群集墳の在り方、装飾古墳の研究や筑後川流域における後期古墳の研究、北部九州の6世紀後半の政治社会の研究の上で、極めて重要である。

経過と今後の方針：

福岡県と協力し、国史跡田主丸古墳群への追加を視野に入れて文化庁とも協議を進めている。今後は地権者に理解を求め、12号墳をはじめとする益生田古墳群の総体的な保存を図っていく。

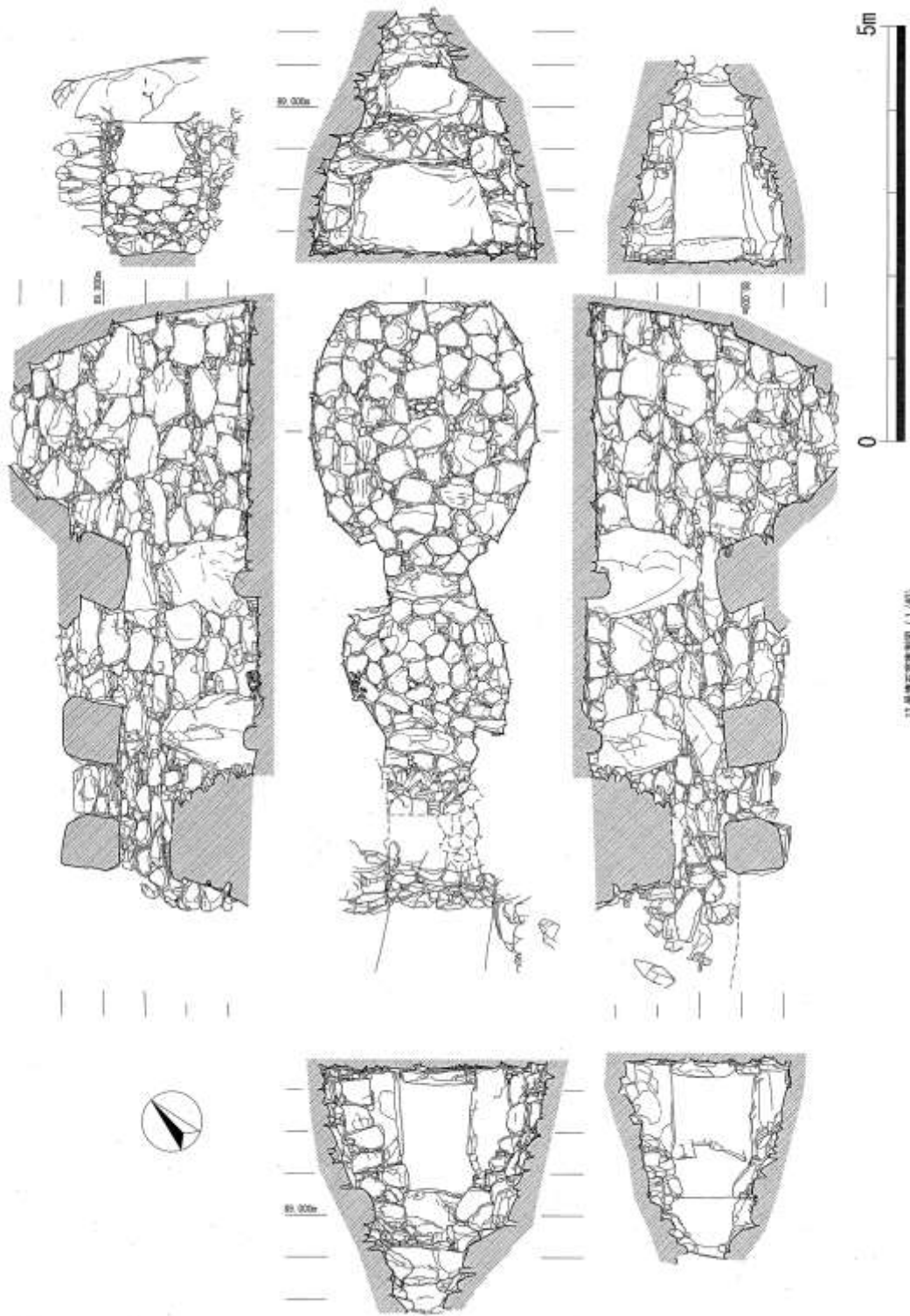


奥壁の敲打による装飾



益生田古墳群A群地形測量図(石室形態から見た築造時期の変遷)





12号墳石室実測図 (1/40)

益生田 12 号墳石室実測図